



地域で創る確かな未来

すぎもり賢二

けんじ

オフィシャルサイト <http://www.sugimorikenji.info/>

KENJI

SUGIMORI



■ 杉森賢二プロフィール

- 生年月日 ■
1976年4月5日長泉町下土狩生まれ
- 学歴・資格 ■
県立沼津商業高等学校 国際経済科卒業
産業能率短期大学 通信課程経営管理卒業
法政大学大学院 政策創造研究所修了
政策創造研究 坂本光司研究室所属
動物取扱責任者(保管・訓練・販売)取得
消毒抗菌高度技能士取得
- 議会活動 ■
長泉町議会議員(2期)
1期(前期)青少年問題協議会担当委員
建設文教常任委員会所属
広報広聴常任委員会所属
自民党静岡県連青年部副部長就任
(後期)総務民生常任委員会所属
広報広聴常任委員会副委員長
議会改革特別委員会所属
自民党長泉町支部青年局長就任
自民党静岡県連青年局長就任
2期(前期)建設文教常任委員会委員長
議会改革特別委員会所属
長泉町都市計画審議会委員
三島地方五業協議会顧問
自民党静岡県連青年局長就任
自民党静岡県連総務会委員就任
自民党本部青年局常任委員就任

- 職歴 ■
広告会社勤務
ハウスメーカー勤務
求人誌出版会社勤務
株式会社クレスキュー設立(求人広告)
株式会社エルシャート設立(SP広告・企画)
都富士本舗株式会社設立(ご当地名産品)
株式会社マノラメイト設立(福祉関連機器)
- 所属団体 ■
(一社)アフリカ日本友好協会 専務理事
県立沼津商業高等学校同窓会 常任役員
沼商明石海人の会 理事 事務局長
長泉花いっぱい倶楽部 副会長
長泉はひはび野菜組 こども農業体験サークル
認知症家族の会 ドッグウッドの会
長泉ロータリークラブ 奉仕プロジェクト理事
長泉町商工会青年部
清水町商工会青年部
沼津商工会議所青年部 政策提言委員会 委員長
- 趣味特技 ■
観光、ドライブ、スポーツ全般
野球、ソフトボール、バレーボール、ソフトバレーボールなど
- 尊敬する人 ■
両親、ウォルト・ディズニー、小泉純一郎
- 好きな言葉 ■
夢をかなえる秘訣は、4つの「C」に集約される。
それは、「好奇心」「自信」「勇気」そして「継続」である。
The special secret of making dreams come true
can be summarized in four C's. They are Curiosity,
Confidence, Courage, and Constasy.
(ディズニーより)
- 家族 ■
妻、子(長女1歳)、ペット(愛犬クレス♀14歳)



静岡草薙球場にて
商工会議所青年部(YEG)
野球大会に参加



45歳

自民党県連青年部
青年局メンバーで
政策提言書籍を出版



ドッグトレーナーとして
セラピー犬クレスさんと



青年は
創り続ける

協働参画の輪は、後援会から

■ 杉森賢二後援会 すぎのこ会 後援会活動



沼津の海岸にて地引網BBQを開催



研修バスツアー上野・浅草方面へ



公民館にて町政報告会を開催



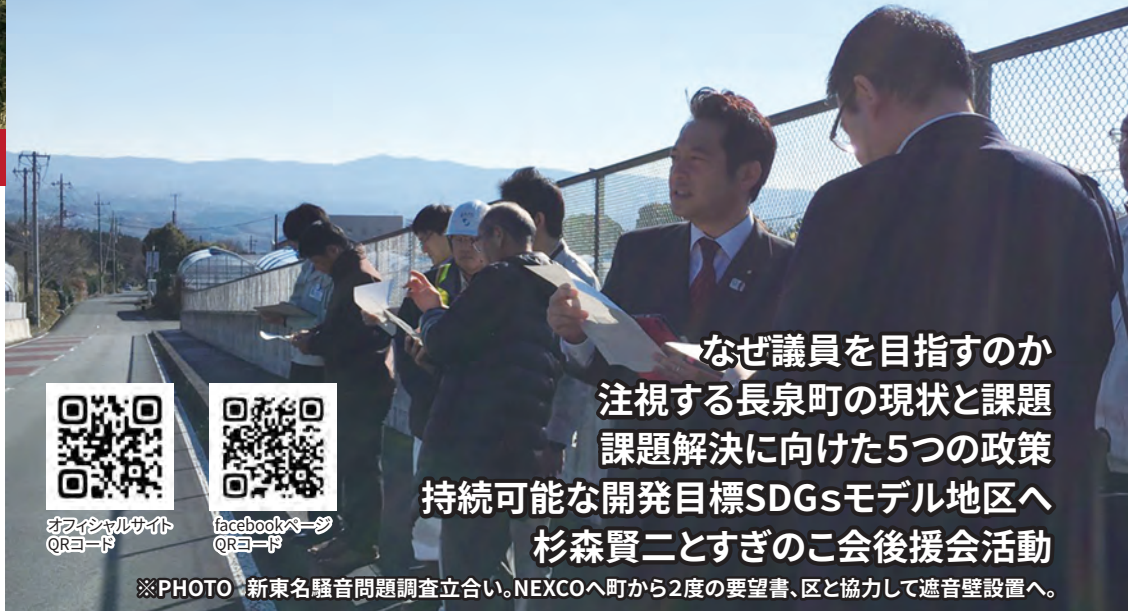
シニアクラブにて意見交換会を実施



ウェルピアにて子育て座談会を開催



ベルフォーレにてカラオケ大会を開催



なぜ議員を目指すのか
注視する長泉町の現状と課題
課題解決に向けた5つの政策
持続可能な開発目標SDGsモデル地区へ
杉森賢二とすぎのこ会後援会活動



オフィシャルサイト
QRコード



facebookページ
QRコード

※PHOTO 新東名騒音問題調査立合い。NEXCOへ町から2度の要望書、区と協力して遮音壁設置へ。

杉森賢二後援会 すぎのこ会でまちづくりに参画しませんか？



後援会お申込みQRコード

お問い合わせ
E-mail / gjl8kenji@gmail.com

本宿事務所:長泉町本宿字四通306-1
TEL.090-6098-1134

駿河平事務所:長泉町東野143-34
TEL・FAX055-943-9640

杉森賢二の後援会活動・政策提言など町政報告を記載した後援会だよりを発行しています。後援会では、町政報告会、子育て座談会、地引網、BBQ、研修バスツアー、カラオケ大会などを企画し取り組んでまいりました。これからも、会員の皆さんと一緒に楽しい企画を行っていきたく思います。月会費はございません。企画参加の場合、企画毎の会費で運営しております。後援会入会のお申込みは、お手持ちのスマートフォンのQRコードリーダーをかざして専用サイトよりお申込みください。

なぜ議員を目指すのか...

杉森賢二は、長泉町議会議員として6年間活動し、地域連携や、地域と県政のパイプ役を目指して県議選に挑戦しました。県政への道は叶いませでしたが、皆様方から投じていただいた**町内7,778票が、議員を志す一番の理由です。**

これまでの政治家としての経験、また経営者としての経験を活かし、地域の皆さんと一緒にまちづくりを行っていきます。地域全体がまちづくりに参画する『協働参画』を掲げ、『**地域で創る確かな未来**』をスローガンに、地域に暮らす私たちが、未来を創造して、子どもたちが夢を持ち、将来も安心快適に暮らすことのできるまちづくりを行っていくために、**課題解決に向けた5つの政策目標**を基に地域の課題や問題点に対し、現場の状況を確認し、地域の声を町政に反映させるための代弁役として、また政策提言者として活動してまいります。ファルマバレーの中心医療城下町として健康で快適な暮らしができるまちづくりを行ってまいります。



1. 杉森賢二に投じていただいた票の期待に応えたい!
2. 政治家・経営者としての経験を地域で活かしたい!
3. 子どもたちが将来安心して暮らせるまちづくりをしたい!
4. 若者にも政治に興味を持ってもらい、協働参画による人にやさしいまちづくりを実現したい!



花いっぱい倶楽部の花壇管理



街頭にて地域の政策を訴える



注視する長泉町の現状と課題

新型コロナウイルス感染拡大など、世界規模での環境問題、社会経済情勢が激しく変化し、少子高齢化、人口減少社会への移行が明確となり、地域に暮らす人々の価値観やライフスタイルが一層多様化する中『快適な暮らし・生活の豊かさ』が強く求められています。

静岡県人口は、令和3年6月1日現在3,615,430人、令和元年同月、3,643,057人で、27,627人減少しています。長泉町の人口は、令和3年6月1日現在43,548人、令和元年同月は43,471人で、77人増加しています。全国各地で人口減少が進行する中、長泉町は人口増となっており全国の中でも注目されています。しかし、人口増ならではの課題があることも事実です。町の努力、町民の理解もあり、保育園の待機児童0と伝えられていますが、希望が叶っていない園児は今も存在します。現在、希望が叶わない園児は、認可外保育施設に通っています。町は、差額を保障していますが、特に3歳以上は、平等教育を目指す上でも、家庭環境関係なく、保育園の希望を叶えることが急務と考えます。また、教育環境の充実を考える上で、町内支援学級に対する支援、就労支援の充実も求められます。全国では、いじめや不登校の問題もなくならず、子どもの自殺も増加しているというデータも出ています。子どもたちが活躍できる為の教育の取り組みと環境整備が必要です。

長泉町の世帯数は、令和3年6月1日現在18,555世帯。令和元年同月、18,234世帯で、321世帯増加しています。人口増に比べ、世帯数増の幅が多いことが特徴です。全国で見ても、人口減少が進む中、世帯数は増加傾向にあるのが現状です。長泉町でも、未婚率の増加や、核家族化の影響を受けて、単独世帯の進行が考えられ、世帯数増が進んでいます。全国でも、町内においても、一人暮らし世帯が増加しており、地域で支えあい、地域のことは地域で守る、地域包括ケアシステムの取り組みが求められています。地域連携、地域活動、健康増進活動による町民のフレイル予防が大切です。

地域連携においては、長泉町とその周辺地域との連携が必要です。町の施設も老朽化が進み、焼却場の一つをとっても、国の基準に則って、近隣地域で連携し、共同整備での環境に配慮した最新技術の炉を整備することが必須です。人口でも、企業誘致でも、近隣地域から取り合いをしても社会現象による課題の解決にはつながりません。地方創生の実現に向けて近隣地域の連携による取り組みは必須といえます。

※人口・世帯数データ…国勢調査、住民基本台帳より

※1 フレイル予防：人は年を取ると段々体の力が弱くなり、外出する機会が減り、病気になるまでも手助けや介護が必要となります。このように心と体の働きが弱ってきた状態をフレイル(虚弱)と呼びます。



町内の老朽化された遊具を撤去し、区と子ども会の役員さんと協力して意見や要望を聞き、新設した遊具。



近隣住民より、ガードレール老朽化の相談を受け要望活動。新設されたガードレール。

①町民の命を守るウイルス感染拡大防止対策と環境・災害対策

消毒抗菌高度技能士として、ウイルス対策の正しい情報、正しい知識をお伝えし、ウイルス感染拡大防止の取り組みを行います。また、万が一の災害に備え、自然エネルギーを活用し、ハザードマップで、人とペットの安全が確保できる災害対策を促進します。

②認知症対策と健康長寿・健康増進フレイル予防対策

厚生労働省によると、2012年の日本の65歳以上の高齢者における認知症有病率推定値は15%で、認知症有病者数約460万人。2025年には19%となり、675万人と推計されています。糖尿病予防など、健康予防のための、『食と運動』による健康で長寿のまちを目指します。

③子育て支援・待機児童平等教育の問題解決・職業観教育の推進

希望が叶っていない待機児童の園児に対し、平等教育の実現に向け、認定こども園の早期開設。保育人員の確保に努めます。町政では、子ども議会を開催し、職業観教育により、子どもたちが夢や希望、目標を持ち、いじめや不登校、自殺が起こらない社会の実現を目指します。

④身体・知的発達・精神障がい者就労支援と自立支援の推進

障がい者とその家族が、生活しやすい環境整備、障がい者に寄り添う、やさしいまちの実現に向け、障がい者が将来自立できるための仕組みづくりや、企業への理解、環境整備を構築し、人にやさしいまちづくりの実現を目指します。

⑤デジタル化推進による教育とBCP(事業継続計画)・産業発展の促進

コロナ禍で進むデジタル化を、教育や産業で活かし、地域の暮らしと経済を支えるICT推進の取り組みを目指します。『リーサス』(地域経済分析システム)の有効活用、スーパーテラワークコンソーシアム(新たな労働スタイルの確立)の取り組みで、町と民間協働のDX(デジタルトランスフォーメーション)を活用したプロジェクトを促進し、タイムリーで確かな情報をお届けする町のWEB動画配信を目指します。

※2 DX…進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念。

持続可能な開発目標SDGsモデル地区へ

町が取り組む地方創生を一層促進する上で「環境未来都市」構想をさらに発展させ、新たにSDGsの手法を取り入れて小水力発電自然エネルギーの活用など町政を戦略的に進める活動を展開していきます。海外とのパイプを大切に、地域経済、デジタルを活用した海外の子どもたちと町の小中学生との交流を実現させ、共に助け合う国際交流につなげます。



現在専務理事を務める(一社)アフリカ日本友好協会顧問オスマン・サンコン氏、河野太郎大田と



町内桜堤付近に設置された水車型小水力発電



台湾総統府蔡英文総統表敬訪問



課題解決に向けた5つの政策



青年局で土砂崩れの被災地を訪問した現地視察。対策や復興状況などを確認。



災害時に人命救助などで活躍している自衛官と情報を共有し、自衛隊体験入隊研修に参加。



公立高校でのグラフィックデザイン、マーケティング、職業講話授業を担当。